

令和 4 年度「学校生活アンケート結果（生徒）」分析とまとめ

学校生活アンケート（生徒） 分析・まとめ

学校に対して

学校を「楽しい」と回答した生徒が 76.7%で高い評価だったが、残りの生徒が「どちらとも言えない・あまり楽しくない」と回答しており、本校の課題として受け止める必要がある。今年は、退学する生徒や進路変更する生徒など、本校の教育活動に対して対応できない生徒がいたことも事実である。また、登校を渋る生徒や登校しても授業に参加できない生徒もいた。先生方は、そんな生徒一人一人に丁寧に実態に応じた関わりを根気強く行うことで教育活動を進めることができたと感じる。個別の成果や課題については、88.3%が「分かった」と回答しており、教職員が一人一人丁寧に関わることで、自分の課題を明確にし、日々の学習に活かす取組ができたのだと考える。

教職員に対して

4～6 の項目では、教員の接し方や態度について肯定的に捉えている生徒が 93%を超えた高い評価でしたが、「自分のことを分かってくれた先生はいますか」については 86.7%と高い評価ではあるが、そう思っていない生徒が数名いるため、今後も生徒に信頼される存在となるよう全教員で目指していきたい。生徒への対応についても、全職員で情報を共有し、統一した関わりを行うなど安心できる学習環境を整える必要がある。

マナーやルールに対して

マナーやルールに対して 90%の生徒は困ったことはないと回答していました。残りの 10%の数名は課題があると感じており、生徒同士の距離感や突然不機嫌になるなど生徒が抱える課題や実態があるため、引き続き教育活動全体の中で指導を行う必要がある。

生徒にとって大切な授業は

生徒にとって「大切である」と感じている授業や活動は、上位から「作業学習」「体力づくり」「国語」「数学」「職業」となりました。卒業後に必要となる知識や技能を身に付けられることが生徒の中にも意識付けされているのだと考える。どの授業においても、社会に出るときに必要な内容と関連させながら取り組む必要がある。

また、一人一台端末の活用として、ipad を授業でも活用する機会が増え、どの学年でも使用の定着が図られてきているため、継続した取組を進める必要がある。

進路指導について

生徒の進路に関する情報は、各学年で行う進路指導や担任との面談が多く、次に親との話し合いとなっていた。6 割以上の生徒が親と進路について話し合いをしているが、この割合を上げる働き掛けを行う必要がある。今後も引き続き担任を中心とした進路指導を計画的に行い、卒業後の進路へつなげていきたい。

その他生徒の自由記述について

- ・家から雑誌や好きな本を持ってきたい。
- ・2 年生の教室に行ってみたい。
- ・エアロビではない、普通のダンスを保健体育の授業でやりたい。
- ・トイレの洗面台の蛇口を伸ばしてほしい。
- ・友達との関わり方について相談したい。
- ・好きな人を作る方法を教えてほしい。
- ・学校を休んだ時にリモートで授業に参加することができるのか知りたい。

以上が生徒からもらった自由記述です。生徒からの意見に回答できることは、具体的に伝えてあげる必要がある。